

平成26年 第4回兵庫ユース委員会 議事録
ユース委員会名語録『ボランティアってお願いされてやるもんじゃないんとちゃうか』

作成:白川 龍彦

日時:2014年 12月14日【日曜日】13時00分～16時00分

◆場所:神戸市青少年会館 6階 会議室

◆参加者

副委員長:白川龍彦(神戸垂水)、梅田華奈(はりま)

各地区:入江精(姫路)、小國健太郎(西播)、岡田章(神戸垂水代理)

アドバイザースタッフ:藤澤拓也(神戸 65 団)

※田井委員長は選挙関連活動のため欠席。

◆議長:梅田副委員長

◆費用:9,200円(交通費)

◆報告事項

1、各地区の報告(報告のあった所のみ)

阪神さくら地区:①3月中旬～下旬に地区において、ユース年代の結集・意見交換・今後の自分の活動の目標づくりを目的としたユースキャンプを実施。②23WSJ ホームステイ受け入れスカウト歓迎会を企画中。

神戸垂水地区:10/19のJOTI(兵庫連盟基地局)に安達委員長が参加。11/2の地区ユース委員会において、73団野営場炊事棟再建・全国フォーラムに行ったVS(神戸垂水地区所属)のバックアップ・ユースキャンプ(後述)の下準備を行った。

※その他、様々な理由で地区ユース委員長と連絡が取り合えない・ユース委員会の方向性や存続自体が危ぶまれている地区が多い、との問題提起があった。

2、各常設委員会等報告

指導者委員会:次年度のGWのWB研修所について、BS課程(加古川)・VS課程(三木)。また23WSJに向けて救急法講習会が開催される。

組織拡充委員会:2/8(日)に兵庫県青少年団体連絡協議会がデュオこうべにて開催するフェスティバルにボーイスカウトとして出展。

スカウト委員会:26年度の間接報告、各地区の報告。BS1級以上・VS章以上の進歩記録の収集方法について協議。5/10にCS部門の改定に関する説明会を開催。2016年度の兵庫連盟合同野営大会は8月3日～7日に行う。

ベンチャー特別委員会:全国スカウトフォーラムの宣言を配布。VS議長連絡会・委員および各地区VS担当コミッショナーとの意見交換会を実施。12/20のVS活動報告会の開設奉仕者の依頼あり。隼支援プログラム(大型工作物など)を検討。

全国ローバースカウト会議：クリスマスボランティアご協力をお願い(年末年始にRSが行ったクリーン作戦の記録をRCJで集約)・ロゴマーク募集について。2月に近畿・中部ブロック合同でスキーを実施。また3月の運営委員会(全国各ブロックの代表による会議)はキャンプ形式とし誰でも見学可能にする。

※23WSJは最低3日の奉仕が必要。また医療チームで入る人は申請可能な資格を申請する事。

◆協議事項

1、ユースキャンプ報告・評価反省

11月15～16日に神戸第73団野営場で実施。スタッフ・参加者含め最大10人程度。

- ・以前地区のユース委員会で作成したピザ窯を有効に活用できた。
- ・特定の地区が主となって運営を行うという新たなスタイルによるひょうごユースキャンプであった。
- ・日帰りの焼肉パーティの方が集まるのでは。
- ・実行委員が身内を連れてこない、絶対参加者は増えない。
- ・他県のようにスカウトが一か所に集まらない(集まらない)のは、統一された地域性の存在しない兵庫の県民性ではないか？それをプラスの方向に活かしてゆけないか。
- ・募集要項出すのが遅かった。要綱作成とかの担当が明確になっていなかった。【誰かがやるだろう】
- ・来年も行う。

※岡田実行委員長が報告書を作成中。

2、平成26年度の事業計画について

前年度の事業計画の振り返りがうまく行えていない、という問題点はあれど、これから県ユース委員会は変わってゆかねばならないという意識のもと、協議を行い、後述のように草案を作成した。

3、各常設委員会出席予定者

理事会(2/8)・企画調整会議(1/25)…田井 指導者委員会(12/21)…梅田

組織拡充委員会(1/18)…小國 or 長谷川 国際委員会(1/17)・野営行事委員会(1/17)…未定

※スカウト委員会(2/15)が次回ユース委員会と重複してしまう。

4、その他

- ・クリスマスボランティアについては、『サンタの格好をしてクリーン作戦をするのは面白そう』という意見もあったが、『スカウトの日』と同様に普段団などで行っている年末の地域清掃を報告すればよいと解釈し、県ユース委員会としては行わないこととした。
- ・次期ユース委員長について、兵庫連盟の役員選考委員会に先立って検討しなければならない。

【次回県ユース委員会】2月15日(日)13時～15時 神戸市青少年会館

平成 27 年度事業計画(案)

重点目標	1	県内ユース年代スカウトが一堂に集う事業の開催	
	2	常設委員会・特別委員会への参画・提言、連携の強化	
	3	『県と地区』『地区同士』の情報・課題共有、連携の強化	
	4	ユース委員会の『見える化』	県ユース委員やその身近にいる人間でない限り、県ユース委員会がどんなものなのかわからないから、ユース委員会主催の活動などにも入っていきづらい、という意見をもとに新設。
事業計画	1-1	ユースキャンプを複数回各地で開催し、県や各地区での活動情報などを共有し、刺激を受ける場を創出する。	全県規模のものを年に1回開催するよりも、それよりもう一回くらいコンパクトな規模で年2～3回、持ち回りで行った方がよいのでは？という意見より。
	1-2	ユースカフェを開催し、「現在・将来のボーイスカウト活動とは？」を考え、県内ユース年代の全スカウトと課題を共有する。	やっていることはフォーラムなのだが、堅苦しさを解消するためこのネーミングとした。
	2-1	毎委員会では、各常設委員会・特別委員会が抱える課題について、協議する時間を設ける。	
	2-2	常設委員会委員長・特別委員会委員長を委員会に呼び、各委員会の方針などについて話していただく機会を創出する。	
	2-3	各常設委員会への出席率 100%を目指す	
	3-1	毎委員会で、全地区活動の報告を徹底し、各地区の取り組み・課題を共有・協議する。	
	3-2	県ユース委員会が、各地区ユース委員会に対し、必要な支援策を協議する。	
	4-1	委員会を持ち回りで開催し、なおかつ委員以外のメンバーが自由に見学できるようにする	
	4-2	議事録や写真のアップロードにより、県ユース委員会のHPを活用する	
行事計画		ユースカフェ ①4/29 ②11/29	4/29 は 65 周年記念振興大会の後に行う。
		ユースキャンプ ①6/20～21 ②2/20～21	
委員会日程…2015/5/17、2015/7/12(AM)、2015/10/17、2015/12/13、2016/3/6(AM)			